

2023年度事業計画（案）

北海道経済連合会 地域政策委員会

(概要版)2023年度活動の基本方針・重点課題(重点テーマ)

【地域政策委員会(グループ)活動基本方針】

北海道経済を牽引する「食」と「観光」、それらを支える「社会資本整備」を活動の柱に据え、ウィズコロナの長期化や外部環境の変化に対応した上で、「2050北海道ビジョン」に基づき、地域の稼ぐ力の回復・強化、DXや強靱化の推進、ゼロカーボン北海道の実現等により北海道のブランド力向上や北海道経済が持続的に発展する活動を行う。

<地域政策委員会活動の重点課題>

食の振興(食くらとの連携)

観光振興による
地域と経済の活性化

社会資本整備(人流・物流ネット
ワークの基盤強化・強靱化)

(重点取組事項)

- ・活力ある北海道創生の推進
- ・ゼロカーボン北海道の推進(観光・物流・インフラ)
- ・「食」「観光」の振興と「スポーツ」の取組強化
- ・観光関連施策の推進、航空ネットワークの充実
- ・DX推進(観光宿泊業・物流事業者など)
- ・社会資本の充実強化(第二青函の実現など)
- ・国土強靱化の推進

(概要版)2023年度「主な具体的取組内容」

◆観光振興の観点から、以下の取組みを行う。

・「スポーツアイランド北海道」を展望した取組の推進

- ・冬季オリパラ招致、冬季版HPSCの北海道設置、スポーツMICE(国際大会・合宿等)招致の実現に向けて、関係者と連携・意見交換を継続し、国・北海道へ要望する。
- ・冬季版HPSCの関係者ヒアリングや、スポーツ合宿に取り組む道内自治体へ取組方針、課題等の実態調査を実施し、今後の要望内容を深化させる。

・DXカンファレンス2023の実施

- ・2022年度に実施した「観光DXカンファレンス」を継続実施する。グループ横断の連携事業として、観光分野に加えて他分野のDX推進事例も取り上げる。

◆社会資本整備の観点から、以下の取組みを行う。

・道内物流事業者の実態調査

- ・人手不足、2024年問題への対策状況、物流DXや脱炭素への取組み状況等について、ヒアリング・アンケート等による実態調査を行う。

・食料供給基地としての物流機能強化と北海道の持続的発展等に向けた取組 (第二青函多用途トンネルの実現)

- ・第二青函多用途トンネルの理解促進のため、2022年度PTで議論をした成果の情報発信、国や北海道への要望、他団体主催シンポジウム等への協力などを行う。

2023年度事業計画(案・その1)

◆目標1 道内経済の回復に向けた取り組みの推進(コロナ・物価高騰関連)

- ① 活力ある北海道創生の推進
- ② 北海道観光振興機構など他団体と連携した観光需要喚起策

◆目標2 ゼロカーボン北海道の推進

～脱炭素と道内経済の好循環、我が国のエネルギー安全保障への貢献(ビジョン目標6)

- ① 奥尻島における観光需要喚起への支援【新規】
- ② ドローン、エアモビリティの観光分野への活用検討
- ③ 社会資本整備におけるゼロカーボン北海道実現に向けた取り組み
 - ・北海道内の洋上風力発電設備の導入促進に向けた促進区域の早期指定及び拠点機能の構築を国へ継続要望する。
 - ・脱炭素化社会の実現に向けた水素等を活用した「カーボンニュートラルポート」の形成支援を国へ継続要望する。

2023年度事業計画(案・その2)

◆目標3 北海道の強みである「食」と「観光」の振興

～我が国の食料安全保障・自給率向上および観光立国への貢献(ビジョン目標2)

- 観光需要の回復に向けて、関係人口や観光消費額の増加による経済波及効果拡大に資する観光関連施策について、下記の事項を実施

- ① 「スポーツアイランド北海道」を展望した取組の推進
- ② 2023年ATWSの成功とATの推進に向けた取組
- ③ 外国人観光客の受入環境の一層の向上
- ④ 「持続可能な観光」の推進
- ⑤ 「働き方改革」の施策のひとつとしてのワーケーション推進(労働政策局と連携)
- ⑥ 政府系国際会議等の各種MICEの誘致
- ⑦ IR誘致の推進
- ⑧ ウポポイ(民族共生象徴空間)への誘客促進
- ⑨ 北海道・北東北縄文遺跡群の保守・保全、観光素材としての利活用の推進
- ⑩ ワインツーリズムの普及拡大(食クラスターグループと連携)【新規】
- ⑪ 四国経済連合会との交流・連携【新規】

2023年度事業計画(案・その3)

- **航空ネットワークの回復・充実による広域観光振興・地域活性化に向けた取り組みとして、下記の事項を実施**

- ① 航空ネットワークを活用した広域観光振興
- ② 二次交通の整備促進
- ③ 丘珠空港の利活用促進に向けた取り組み

◆目標4 デジタル技術・DX推進による地域づくり、新産業・イノベーション創出(ビジョン目標1・4)

- ① 観光・宿泊業におけるDX推進の取り組み
 - (1)顧客満足度向上
 - (2)マーケティング能力向上
 - (3)旅行需要創造型サービスの実証
- ② 観光型MaaSの実現に向けた取り組み
- ③ DXカンファレンス2023の実施
- ④ 物流における輸送効率化

2023年度事業計画(案・その4)

◆目標5 人材育成と多様な人材が力を発揮できる環境整備(ビジョン目標3)

- デジタル人材育成に向けたプラットフォームの形成支援(労働政策局と連携)

◆目標6 地域を支える社会資本の整備と強靱化の推進(ビジョン目標5)

• 社会資本の充実・強化

- ① 食料供給基地としての機能強化と北海道の持続的発展等に向けた取り組み(第二青函多用途トンネルの実現)
- ② 航空機利用促進策への協力
- ③ 北海道旅客鉄道(株)(JR北海道)への支援
- ④ 物流機能の維持に向けた取組
- ⑤ 北海道新幹線の整備促進
- ⑥ 高規格道路等の整備促進
- ⑦ 港湾・漁港の機能強化

• 国土強靱化の推進